

=お知らせ=

街頭検査実施結果について

定期点検整備の促進と不正改造車排除を図るため、標記街頭検査が実施されました。

なお、街頭検査の結果は以下のとおりです。

日時	実施場所	参加者	摘要
11月6日(水) 13:30~15:30	北杜市白州町 (地方整備局敷地内)	運輸支局 自動車技術総合機構 警察 峡北支部 振興会	3名 1名 2名 5名 2名
			総検査車両数 不良車両数 整備命令 口頭注意 車検切れ
			36台 3台 1台 2台 0台

【主な不適合箇所】

口頭注意 すれ違い用前照灯不点灯・車幅灯及びナンバー灯不点灯
整備命令 運転席及び助手席窓ガラス着色フィルム貼付

【可搬式ナンバー自動読取装置の読取件数】

666件 (補足件数、指導件数ともに0件)

※ 峠北支部の皆様、ご協力ありがとうございました。

車検・点検案内はがき「お楽しみくじ」11月分当選発表

事業場	認証	支部	事業場	認証	支部
三友自動車工業（有）	15	甲府南	河野自動車整備工場	963	市川
(株) キリン自動車	411	甲府南	(株) 稲葉工業	63	南巨摩南
(有) 塩部モータース	189	甲府北	保坂自動車	619	南巨摩北
(有) カーサービス五味	1106	甲府北	(株) 関東リース興業	12	東八
末木モータース	431	峠北	御坂自動車修理工場	165	東八
(有) 清里自動車	492	峠北	米山自動車工場	629	東八
藤原モータース	724	峠北	小澤自動車工業	931	東八
(有) 輿石自動車工業	665	韮崎	(株) 田辺自動車	113	塩山
山本自動車整備工場	699	韮崎	町田自動車商会	692	塩山
樽林モータース	834	韮崎	森山自工	842	塩山
田中自動車工場	996	韮崎	東信自動車整備工場	314	岳麓
清水自動車	1052	韮崎	古久屋自動車	1009	大月
新津モータース	413	南アルプス南	杉林モータース	786	都留
八田自動車整備工場	760	南アルプス北	高部自動車整備工場	805	都留
清水モータース	858	南アルプス北	志村自動車整備工場	894	都留

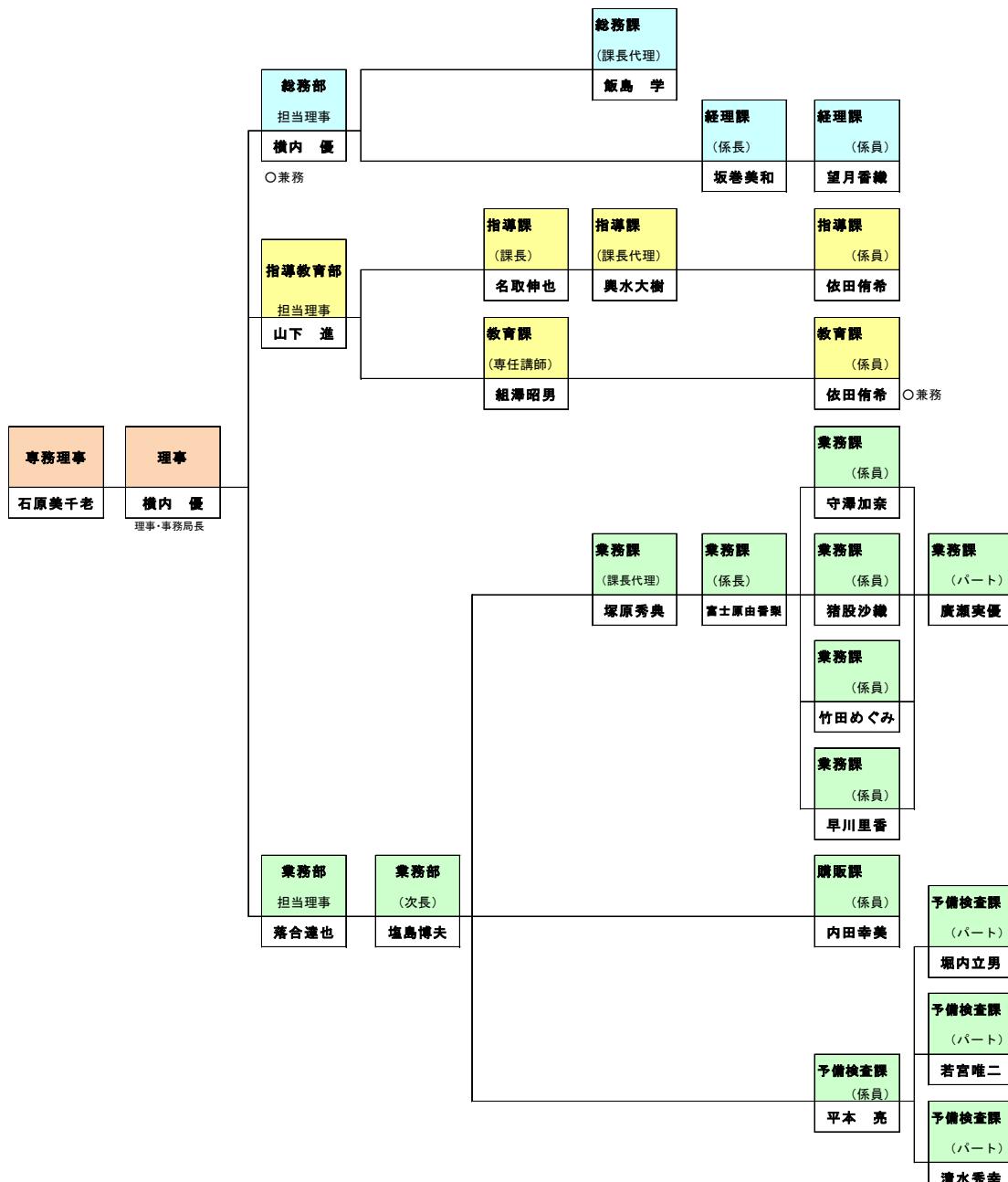
令和元年度 CO・HC測定器定期校正の実施計画について

通達に基づき、認証工場を対象とする標記定期校正を下記により実施致します。

また、該当支部の事業場（認証工場）には、追って案内文書を通知致しますので、あらかじめ
ご承知置き下さい。 令和元年度 CO・HC定期校正計画表

支 部	年 月 日	実 施 場 所	時 間
南巨摩南	令和2年2月14日(金)	各事業場巡回	10:00~16:00
上 野 原	2月26日(水)	各事業場巡回	10:30~15:00

事務局組織図について (11月末現在)



軽自動車の継続検査 OSS に係る受付開始のお知らせ

11月11日(月)より2020年1月6日(月)の軽自動車の継続検査OSSの日整連支部における代理申請業務開始に先駆け、利用申込み及びダイレクト納付口座登録についての事務手続きを開始しました。

これに伴い、軽自動車の継続検査OSS代理申請に係る申込書が「日整連自動車情報サイト (<https://www.jaspa.or.jp/portals/ossuser/index.html>)」に掲載されております。

振興会におきましても申込書の準備をしております。

(注1) 既に登録車OSSの申し込み及びダイレクト納付届出をしていても、別途、軽自動車OSS用の申し込み及び届出が必要となります。

(注2) 詳しくは「マニュアル類のダウンロード」ボタンより「継続検査OSS代理申請 ご利用マニュアル（導入編）」を入手して内容をご確認ください。

なお、軽自動車においては、ダイレクト納付は自動車重量税のみに対応しており、検査手数料については「継続検査代理申請サービス利用規約」及び「継続検査代理申請サービスの料金に関する細則」に記載のとおり、ご利用の翌々月に利用料金とともに口座振替されますので、予めご了承願います。ご不明な点がございましたら、指導課までお問い合わせください。

【参考　日整連自動車情報サイトトップ画面】

～継続検査OSS関連窓口～

日整連自動車情報サイト

--- 更新履歴 ---

2019.11.11 軽自動車OSSの受付開始に関する【重要なお知らせ】を追加
2019.11.11 軽自動車OSSに係る各種申込書及び届出書の追加、マニュアル類のダウンロードを更新
2019.07.29 軽自動車OSSの開始時期等に関する【重要なお知らせ】を追加
2019.06.11 マニュアル類のダウンロード【OSS代理申請関係】②を更新

▼ 重要なお知らせ (2件)

■ 保険証サービス (日整連)

保険証サービス ログイン

【システム稼働時間】
8:00～20:00 (年末年始等を除く)

・保安基準適合証 (保険証) 及び適合標章の作成、交付、照会
・管理簿の出力

保険証利用者管理サービス ログイン

【システム稼働時間】
8:00～20:00 (年末年始等を除く)

・事業場管理ユーザー及び検査員ユーザー等の登録、変更、削除、照会

保険証サービス に関するFAQ

画面操作 動画マニュアル

保険証サービス 利用規約・細則

法令に基づく開示情報

■ 継続検査代理申請サービス (日整連)

OSS申請共同利用システム

※デスクトップ上のFirefoxアイコンを起動してご利用下さい。

Firefoxインストール・設定手順
【依頼人編】をご参照下さい。

【AINAS稼働時間】
8:00～22:00 (年末年始等を除く)
(注)受付時間について

・依頼データの登録、更新、照会 等
・申請データの照会
・申請ステータスの照会
・AINASからのお知らせ

OSSの利用規約等 (登録車・軽自動車)

・自動車重量税額の照会等 (登録車・軽自動車)

・お知らせ一覧 (登録車・軽自動車)

・ダイレクト納付対応金融機関 (登録車・軽自動車)

OSS申請可能な車両の条件等 (登録車・軽自動車)

OSS代理申請 に関するFAQ

各種申込書 及び届出書

OSS代理申請 利用規約・細則

リンク先 : 一般財団法人自動車検査登録情報協会

▶ 自動車情報管理センター (自検協AIRAC)
・完検証、譲渡証、自賠責等の証明書の電子化に関するごと
・AIRACの概要と開示情報、利用規約細則等
・登録情報処理機関について

▶ 入力文字チェック
・氏名等の入力で取り込みない文字 (旧漢字、記号等) が確認できます

リンク先 : 公益財団法人自動車情報利活用促進協会

▶ OSS申請共同利用システム (AINAS)
・AINASへの申込みに関する情報
・AINAS操作マニュアルの入手
・AINASの概要と機能、利用規約・細則等
・AINASに関するお問合せ

▶ 利用協会からのお知らせ

マニュアル類のダウンロード

確認事項及び承諾書のダウンロード

利用料及び手数料について

ご利用に関するお問合せ

ボルトの錆や左後輪に注意！車輪脱落事故 3年連続増加「厳しい状況」 ～平成30年度大型車の車輪脱落事故発生状況を受けて～

平成30年度のホイール・ボルト折損等による大型車の車輪脱落事故発生件数が、81件（うち人身事故が3件）と3年連続で増加し、ピークとなった平成16年度の87件に迫る厳しい現状を受け、今般、国土交通省より、平成30年度の大型車の車輪脱落事故発生状況や車輪脱落事故防止に係る今後の対策等について、下記のとおりプレスリリースされましたのでお知らせします。

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和元年11月15日
自動車局整備課

ボルトの錆や左後輪に注意！ 車輪脱落事故 3年連続増加「厳しい状況」 ～ 平成30年度大型車の車輪脱落事故発生状況を受けて～

平成30年度のホイール・ボルト折損等による大型車の車輪脱落事故発生件数は81件（うち人身事故3件）と3年連続で増加し、ピークとなった平成16年度の87件に迫る厳しい状況となりました。

事故が発生した車両の傾向として、左後輪に脱輪が集中していることに加え、今般、新たにホイール・ボルトやホイールの錆の除去が不十分のままタイヤ交換されているおそれがあることが確認されたため、関係団体と一致協力して、ボルトの錆の除去など適正な交換作業の実施、交換後、特に脱輪の多い左後輪の重点点検を大型車ユーザーに求めて参ります。

1. 事故発生状況

平成30年度の大型車（車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス）の車輪脱落事故発生状況は、別紙1のとおりです。

【主な傾向】

- 冬期に多く発生する傾向に変わりはないが、冬期以外の発生が対前年度1.7ポイント増
- 積雪地域に多く発生する傾向に変わりはないが、対前年度1.6ポイント増
- 車輪脱着作業後1ヶ月以内に脱落が集中する傾向にあり、対前年度6.5ポイント増
- 新たな兆候としてホイール・ボルトやホイール自体の錆の除去が不十分のままタイヤ交換されている可能性が考えられ、車齢4～6年経過した車両の脱輪事故が多発
- タイヤ交換作業が集中する11月の交換は対前年度1.5ポイント減、反面、12月の交換が対前年度1.7ポイント増
- 左後輪脱落が全体の9割を占め、対前年度8ポイント増



ハブ・ホイールディスク取付面の状態
(初度登録H25.3)

2. 車輪脱落事故防止に係る今後の対策

平成30年度は、新たに緊急対策を実施するなどの取り組みを積極的に行なったところですが、依然として不適切なタイヤ交換作業、交換後の保守管理の不備が主な要因となっていることから、「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会」において、昨年度に取り組んできた緊急対策に、平成30年度の事故発生の傾向対策を追加した「令和元年度 緊急対策」（別紙2）を今年11月1日に取りまとめたところであり、大型車ユーザーなどの関係者に対し、その徹底を図ってまいります。また、実態に即した広報啓発方法や点検整備方法などを検討するワーキンググループを今後設置し、更に効果的な事故防止対策を追加的に策定し取り組むこととしております。

〈問い合わせ先〉

自動車局 整備課 児島、川崎

代表:03-5253-8111（内線:42413、42412）、直通:03-5253-8599、FAX:03-5253-1639

◎落ちない！車輪キャンペーン

大型車の車輪脱落事故

ゼロへ

徹底しよう！大型車の車輪脱落を防ぐ4つのルール



きまりの
トルクで
きちんと
締め付けて

規定のトルクで確実な締め付けを

締付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と平面座で締め付けるISO方式があります。「規定の締付けトルク」で確実に締め付けます。

※ホイールナットの締付け不足、締め忘れ防止のため、ナット締め付け作業時（終了後）、「規定の締付けトルク」で確実に締め付けたことを確認するよう、お願ひします。



ちゃんと
増し締め
交換後

50～100km走行後に、 しっかり増し締めを

締め付け後は初期なじみによってホイールナットの締付け力が低下。50～100km走行後を目安に、増し締めしてください。

JIS方式（球面座）
ダブルタイヤの場合

1
アウターナット
を締めます。

2
インナーナット
を締め付けます。

3
アウターナット
を締め付けます。



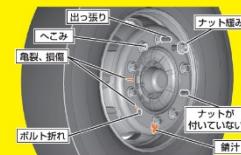
※これらの図は右側タイヤの場合です。



（ナット）
っと見て
ボルト触って
さあ出発！

一日一回の日常点検を

運行前にホイールボルト、ナットを目で見てさわって点検してください。異常を発見したらすぐ整備工場へ。

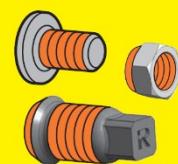


や待てよ？
ボルトと
ナットは
適正か？

ホイールに適合したボルト、ナットを

スチールホイール、アルミホイールの履き替えには、それぞれ適合するホイールボルト、ナットの使用が必要です。必ずご確認ください。

※JIS方式では、アルミホイール（スチール）用のホイールボルト、ナットで、スチールホイール（アルミ）は履けません！ISO方式では、スチールホイール用ホイールボルトで、アルミホイールは履けません！



左後輪に注意！

車輪脱落の多くが、気がつきにくい「左後輪」で
発生しています。左後輪
の点検は重点的に行つ
てください。



ホイールやホイールボルトの錆に注意！

ホイールやホイールボルト、ナットの著しい錆
によると思われる車輪脱落が発生しています。
著しい錆のあるホイールやホイールボルト、
ナットは、交換してください。



詳しくは、
こちらから！



国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDトラックス) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会



タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる 車輪脱落事故が発生しています!

タイヤ交換作業にあたっては、【車載の「取扱説明書」】や【本紙表面に記載の「車輪脱落を防ぐ4つのポイント」】、
【下記の「その他、ホイールナット締め付け時の注意点」】などを参照の上、正しい取り扱い(交換作業)をお願いします。

※ホイールナットの締め付けは、必ず「規定の締付けトルク」で行ってください。
※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい
取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。



ホイールナットの締め付け不足。アルミホイール、
スチールホイールの取り扱いミス(誤組み付け、部品の誤組み)

その他、ホイールナット締め付け時の注意点

ホイールボルト、ナットの潤滑について

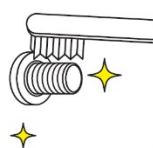


JIS方式 ホイールボルト、ナットのねじ部と座面部(球面座)にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布します。

ISO方式 ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーとのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布します。ナットの座面(ディスクホイールとの当たり面)には塗布しないでください。

※ ホイールの固着防止のため、ハブのはめ合い部(インロー部)にグリースを薄く塗布します。

ディスクホイール、ハブ、ホイールボルト、ナットの清掃について



ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。



ホイールナット締め付け時の注意点だよ!

② ホイール締付け方式

ホイールの締付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。
また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

ホイール締付け方式	ISO方式(8穴、10穴)	JIS方式(6穴、8穴)
ホイールサイズと ボルト本数(PCD)	19.5インチ: 8本(PCD275mm) 22.5インチ: 10本(PCD335mm)	17.5(19.5の一部)インチ: 6本(PCD222.25mm) 19.5、22.5インチ: 8本(PCD285mm)
ボルトサイズ ねじの方向	M22 左右輪:右ねじ(新・ISO方式) 右輪:右ねじ 左輪:左ねじ(従来ISO方式)	前輪 M24(または20)後輪 M20、M30 右輪:右ねじ 左輪:左ねじ
ホイールナット 使用ソケット	平面座(ワッシャー付き)・1種類 33mm(従来ISO方式の一部は32mm)	球面座・6種類 41mm/21mm
ダブルタイヤ	一つのナットで共締め	インナー、アウターナットそれぞれで締め付け
ホイールのセンタリング	ハブインロー	ホイール球面座
アルミホイールの履き替え	ボルト交換	ボルトおよびナット交換
後輪ダブルタイヤの 締付け構造		

詳しい情報は、日本自動車工業会HPをご覧ください。

http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/

「年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施」について

令和元年12月10日（火）から令和2年1月10日（金）までの間、令和元年度「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施する旨、山梨運輸支局長より通達がありました。
標記運動へのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

令和元年度年末年始の輸送等に関する安全総点検実施細目（抜粋）

山梨運輸支局

○実施時期

令和元年12月10日（火）～令和2年1月10日（金）

○重要点検事項及び点検項目

（1）飲酒運転や薬物運転等を行わないための安全対策の実施状況

- ① 飲酒運転防止に対する指導・啓発運動を実施しているか。
- ② 飲酒を習慣にしている人を把握し、翌日に業務がある場合の飲酒等について指導しているか。
- ③ 覚せい剤や危険ドラッグ等の薬物使用防止に対する指導・啓発活動を実施しているか。

（2）車両の日常点検整備、定期点検整備等の実施状況（特に大型自動車の脱輪事故防止対策及びスペアタイヤ等の定期点検実施状況）

- ① 車輪脱落事故や車両火災事故及び車体腐食事故をはじめとした整備不良事故を防ぐため、自動車点検基準に基づく日常点検及び定期点検が実施されているか。特にホイール・ナット及びボルトの緩み等について確認しているか（※）。また、自動車の点検整備等に関する社内規定の内容について、整備管理者等への周知徹底が図られているか。

（※）については、車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車に限る。

- ② 車輪脱落事故を防ぐため、ホイール・ナット及びボルトの緩み等について、特に左後輪の脱落が多いことにも留意して、運行前点検で確認をしているか。冬用タイヤへの交換作業は、正しい知識を有した者に実施させ、ホイール・ボルト、ホイールの鏽の状況を確認し、鏽の除去が不可能な冬用タイヤへ交換を実施した後、50km～100km走行後にホイール・ナットの増し締めを実施しているか。（車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車に限る）

- ③ スペアタイヤ取付装置、スペアタイヤの取付状態、ツールボックスの取付部について3ヶ月毎の定期点検を実施しているか。（車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車に限る。）

（3）死傷事故等を防止するための安全対策の実施状況

- ① 夕暮れ時の早めの前照灯点灯及び夜間のハイビームの活用を指導しているか。
- ② 右左折時において、周囲の交通状況を十分確認するよう指導しているか。特にトラックにおいて、助手席の荷物や不適切な架装・改造、後写鏡の状態等により死角を大きくすることがないよう、指導しているか。

(4) 新型インフルエンザ対応マニュアル、事業継続計画の策定状況、対策に必要な物資等の備蓄状況及び職場におけるうがい・手洗い等感染防止対策の周知・徹底状況

- ① ポスター類の掲示、放送などにより、公共交通機関の車内・構内等におけるマスク着用、咳エチケット等を呼びかけているか。
- ② 職場内におけるうがい、手洗い及び消毒用アルコールを使用した手指消毒の徹底が図られているか。
- ③ インフルエンザ等の流行に備え、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく事業継続計画、または対応マニュアルが策定されているか。

○実施事項

- (1) 整備事業者においては、自動車使用者に対し、日常点検、定期点検整備の励行を指導すること。また、後部座席を含むシートベルト着用の徹底とチャイルドシート使用の徹底を図ること。
- (2) リボンの着用、垂れ幕等を掲出するとともに、点検事項を掲示するなどして総点検の趣旨の徹底を図ること。

令和元年度「年末の交通事故防止県民運動」について

これから迎える年末は、交通渋滞が起こりやすく、また、日暮が早くなつて気持ちが気ぜわしくなる等、諸々の要因から交通事故の多発が懸念されます。

このため、本年も12月の1ヶ月間「年末の交通事故防止県民運動」を実施します。
当運動を十分ご理解の上、「重点目標」に沿つてご協力頂きますよう、よろしくお願ひします。

令和元年度「年末の交通事故防止県民運動」実施要領（抜粋）

○目的

この運動は、交通量の増加に伴う道路の渋滞や心理的な慌ただしさ、飲酒の機会が増えるなど、様々な要因が重なり合つて交通事故が発生しやすくなる年末の時期において、県民一人ひとりに交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を促し、交通事故の防止を図ることを目的とする。

○期間

令和元年12月1日（日）～12月31日（火）までの31日間

○主催

山梨県交通安全対策本部・山梨県交通対策推進協議会

○交通安全スローガン

「乗せるのは 君の宝(かぞく)と その未来(あした)」

○運動の重点目標

- 1 飲酒運転の根絶
- 2 早めのライト点灯・ハイビームの活用の徹底と反射材使用の推進
- 3 高齢者と子供の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止

= 研修・講習会 =

令和元年度第2回自動車整備技能登録試験の実施について

標記試験が下記のとおり実施されますので受付期間中にお申し込み下さい。

◇実施種目

	学 科 試 験	口 述 試 験	実 技 試 験
試験の種類	<ul style="list-style-type: none">・一級小型自動車・二級ガソリン自動車・二級ジーゼル自動車・二級自動車シャシ・三級自動車シャシ・三級自動車ガソリン・エンジン・三級自動車ジーゼル・エンジン・三級2輪自動車・自動車電気装置・自動車車体	<ul style="list-style-type: none">・一級小型自動車	<ul style="list-style-type: none">・一級小型自動車
受付期間	令和2年1月20日(月)～1月24日(金)		
試験日	令和2年3月22日(日)	令和2年5月10日(日)	令和2年8月23日(日)
試験会場	振興会研修センター	未定	未定

※実技試験を受ける人は学科試験合格者のみ対象。

◇受験資格 一級受験者は二級整備士（シャシは除く）合格後3年以上の実務経験者

二級受験者は三級整備士合格後3年以上の実務経験者

三級受験者は1年以上の整備作業実務経験者

(注) 実務経験の短縮対象者

二級 大学機械科卒業者 1.5年

高校機械科卒業者 2.0年

三級 大学・高校機械科卒業者 0.5年